

11月13日 マラソン大会がありました。

危ぶまれていた天気でしたが、からっと晴れ
小春日和となり、絶好のマラソン日和でした。



開会式、体育委員長のスピーチに、みんなの気合いが高まりました。



道中の交通安全をまもるために、ボランティアの方も立哨していただきました。



低学年のスタートです。みんな笑顔で駆け出しました。



待つこと数分、丘の上に白い帽子が見えると
運動場で待っていた中・高学年の児童から
「がんばれー」と歓声が上がりました。



歓声の中、運動場を一周走ります。
疲れて遅くなるどころか、よりスピードアップしました。
歓声は、最後の子がゴールするまで続きました。



中学年のスタートです。
みんな一斉に飛び出しました。走る前まで、今日はどう走る、何位を目指す・・・と
いろいろ話をしていました。どうやら気合い十分です。



折り返し地点、ここから登りが続きます



運動場に入っても、まだまだスピードは落ちません
負けず嫌いの中学年は、運動場に入ってからデッドヒートがすごかったです。
負けてなるかと、一秒でも早く、ゴール目指して走りました。



高学年のスタート直前

「マラソンは、一步一步が、やめるか、もう一步前に出すかの、決断だ」
「数千回の逃げない決断を」
「6年生は、最後のマラソン大会、悔いを残すな」
と、先生の檄をうけ、高学年がスタートします。



構えにも、気合いが感じられます。



坂のある字を二周する、アップダウンの激しいコース
子ども達は自分のペースをまもり、走り続けます。



運動場では、たくさんの声援をうけて、しんどいながらも前に、前に足を出しました。参加した児童は、全員逃げない決断をのりこえて、ゴールしました。

このマラソン大会では、ボランティアの方の交通立哨や、警察の方のご協力の他にも、地域の方が自発的に交通立哨をしていただいていたようです。また、道行く車も児童の走る速さにあわせて、ゆっくりと走ってくださることもありました。さまざまなご支援をいただきながら、だれ一人けがをすることなく子どもたち全力を出すことができました。ありがとうございました。